

文書番号 CE-210-23A  
発行日 2023.05.02

# エコアクション21 環境経営レポート

2022年度（期間2022/4～2023/3）



ケミコン精機株式会社

〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-7-6  
Tel 0428-24-3830(代表) Fax 0428-24-8599

## 1. 組織の概要

(1) 事業者名

ケミコン精機株式会社

(2) 代表者名

代表取締役常務 紺野 雅裕

(3) 所在地

青梅事業所 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-7-6

仙台事務所 〒989-2436 宮城県岩沼市吹上2-3-7

(4) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 湯上 賢

連絡先 Tel 0428-24-3830 Fax 0428-24-8599

(5) 資本金

2,000万円

(6) 事業の規模

従業員数 青梅事業所 45名(2022年度平均人員)

仙台事務所 3名(2022年度平均人員)

(7) 事業内容

各種精密部品加工、販売

合理化、省力化機器設計及び製作、販売

## 2. 対象範囲

組織の概要に記載した全事業所・全事業内容

### 3. 環境経営方針

当社は、環境経営方針を以下の通り定め、これに基づき行動します。

文書番号 CE-101-22A

## 環境経営方針

ケミコン精機株式会社は、日本ケミコングループの国内設備製作会社として『日本ケミコン環境基本方針』に基づき環境保全活動に取り組んでいきます。併せて経営における課題とチャンスの明確化を考慮し、この環境経営方針をケミコン精機株式会社全事業所の活動方針として制定致します。

1. 環境経営方針を達成するために、適切な組織の構築、必要な人的・物質的資源を整え、目標を定め継続的改善および環境負荷の削減に取り組みます。  
環境経営方針ならび環境経営目標は、それぞれ可能な範囲で経営における課題とチャンスを踏まえ整理、明確にし、毎年定期見直しを行なうとともに必要な場合は臨時見直しを行います。
2. 環境関連の法規、条例を遵守し当社が設定した目標に向け継続的に取り組みます。
3. 全従業員がこの方針に従い、各事項に対し積極的に環境管理活動を展開します。
4. 当社の事業活動が環境に影響を与える以下の項目に取り組みます。
  - ①カーボンニュートラル対応並びに省エネルギー推進(CO2削減)
  - ②廃棄物の削減およびリサイクルの推進  
資源の有効活用とプラスチックを含む廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)推進
  - ③水使用量の削減(節水)
  - ④化学物質の管理
  - ⑤グリーン調達推進
  - ⑥自社製品の環境配慮
5. 生物多様性への対応として、生物多様性保全活動を推進、展開するとともに地域及び企業間連携を目指します。
6. 環境事故、自然災害時等の環境リスクについて、発生時の対応及び予防に努め、また、気候変動を含めたリスク発生時の影響を最小限に抑える組織を確立し、維持する。
7. 環境経営方針は文書化し、教育訓練および日常の活動を通じて、当社で働く全ての人に周知・徹底をはかるとともに社外にも公表致します。

2022年4月21日  
ケミコン精機株式会社  
代表取締役常務

代表者署名

紺野雅裕

## 4. 環境経営目標

当社における2012年度実績を基準とし、2020年度から2022年度までの中期目標を設定

項目	基準	中期目標		
	2012年度実績	2020年度	2021年度	2022年度
1) 省エネルギーの推進 (CO2の削減)	2,638 Kg-CO2/人	2,354 Kg-CO2/人	2,330 Kg-CO2/人	2,284 Kg-CO2/人
①電力使用量				
②灯油		2012年度	2012年度	2012年度
③液化石油ガス(LPG)		実績平均比	実績平均比	実績平均比
④ガソリン		10.7%削減	12.2%削減	13.4%削減
2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進	0.078 t/人	0.072 t/人	0.072 t/人	0.072 t/人
①一般廃棄物(可燃、不燃ごみ)				
②廃プラスチック		2012年度	2012年度	2012年度
③廃油・廃液		実績平均比	実績平均比	実績平均比
④廃鉄(金属くず、配膳くず)		7.7%削減	7.7%削減	7.7%削減
⑤段ボール等(資源ゴミ)				
⑥木屑				
3) 水使用量の削減	8.59 m <sup>3</sup> /人	7.90 m <sup>3</sup> /人	7.90 m <sup>3</sup> /人	7.90 m <sup>3</sup> /人
①下水道				
		2012年度	2012年度	2012年度
		実績平均比	実績平均比	実績平均比
		8.0%削減	8.0%削減	8.0%削減
4) 化学物質の管理		PRTR法に該当する量の化学物質が使用されていないか監視する。代替えなどの可能性を探り、不可能な場合正しい届出がされているかの確認をする。		
①化学物質の監視				
5) グリーン調達		製品を製造するために必要な原材料、部品、設備などを調達する時、環境負荷の少ないものから優先的に選ぶ。		
6) 自社製品の環境配慮		設計案件に対してのRoHS・省エネ対応部品明細表の使用状況を月次で把握し、不備があった場合その理由を明確にする。		
7) 生物多様性への対応		生物多様性保全活動を推進、展開。		

※CO2排出係数は、0.378→0.463Kg-CO2/kWhを使用(2020年度より)し、毎年1%削減する。

※廃棄物、水使用量は、2012年度実績値より約8.0%削減した値を3か年の目標としています。

※今期は中期計画3か年の3年目として活動を実施しております。

## 5. 環境経営計画(2022年度)

### (1) 省エネルギーの推進 (CO2の削減)

- ①空調設定温度管理徹底(夏季28℃、冬季20℃)節電対策
- ②照明、OA機器の節電、省電力設定の徹底
- ③簡易間仕切り、作業エリアの分割、限定推進
- ④デマンドの活用、ピーク値管理の強化
- ⑤社有車エコ運転の徹底及び教育
- ⑥社有車自主定期点検の徹底(事故防止・燃費向上:毎月1回)
- ⑦コンプレッサーエア-点検・整備(毎月1回)実施
- ⑧コンプレッサーエア-漏れ点検(5・12月、年2回)実施
- ⑨空調機器フィルター清掃点検(6.12月、年2回)実施
- ⑩第二種圧力容器定期自主点検(5.12月、年2回)実施
- ⑪工作機械定期自主点検(4.10月、年2回)実施
- ⑫省エネルギーの推進(深堀)

### (2) 廃棄物の削減及び3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進

- ①段ボールのリサイクル徹底(非焼却)
- ②古新聞・古雑誌等のリサイクル徹底(非焼却)
- ③緩衝剤、木材パレットの再利用
- ④事務用紙の再利用／リサイクルの徹底
- ⑤部品梱包の簡略化／削減
- ⑥廃棄物置場点検(毎月1回)実施
- ⑦廃棄物の削減及びリサイクルの推進(深堀)

### (3) 水使用量の削減(節水)

- ①各蛇口の節水、ルールの徹底
- ②水道メータ点検(毎月2回)実施
- ③蛇口等の水漏れ点検(5・8・11・2月、年4回)実施
- ④埋設配管点検(6・12月、年2回)実施
- ⑤水使用量削減(深堀)

### (4) 化学物質の管理

- ①新たな化学物質使用の監視・確認
- ②化学物質一覧表の見直し、更新(9・3月、年2回)
- ③灯油置場点検(毎月1回)実施
- ④薬品油類置場点検(毎月1回)実施
- ⑤フロンガス使用機器点検(4・7・10・1月、年4回)

### (5) グリーン調達への推進

- ①グリーン調達一覧表の見直し、更新
- ②部品のRoHS検査の実施(RoHS対応証明できないものは日本ケミコン分析Gに依頼)

### (6) 自社製品の環境配慮

- ①RoHS・省エネ対応部品明細使用の遵守・確認
- ②小型化、長寿命化、部品数削減等の推進
- ③省エネ部品使用の推進・深堀

### (7) 生物多様性への対応

- ①巣箱の設置、観察(野鳥の保護)毎月1回
- ②植樹・モッコクの木観察(野鳥の保護)  
観察毎月1回、4月～9月(原則毎月消毒)
- ③教育DVDを視聴し、環境に対する意識を高める

## 6. 環境経営目標の実績と評価

項目	単位	2012年度 実績値(基準)	2022年度(2022/4~2023/3)		
			目標 (絶対値)	実績 (絶対値)	評価
1)省エネルギーの推進 (CO2の削減)	kg-CO2/人	2,638	2,284 (128,414)	2153.5 (121,077)	○
2)廃棄物の削減及びリサイクルの推進	t/人	0.078	0.072	0.033	○
3)水使用量の削減	m3/人	8.59	7.90	7.11	○
4)化学物質の管理	—	—	新たな化学物質の使用の監視	新たな化学物質の使用は無し	○
5)グリーン調達推進	—	—	原材料、部品、設備などを調達する時、環境負荷の少ないものから優先的に選ぶ	毎月漏れなく実施	○
6)自社製品の環境配慮	—	—	毎月のRoHS・省エネ明細の使用把握と不備理由の明確化	毎月漏れなく実施	○
7)生物多様性への対応	—	—	生物多様性保全活動を推進、展開	毎月漏れなく実施	○

評価判定 ○・・・目標達成 ×・・・目標未達成

### 1)省エネルギーの推進 (CO2の削減)

結果:2012年度実績値に対して18.4%削減。今期目標に対して(2020年度目標比3%削減)達成している  
コメント:CO2絶対値、昨年124,515から今年121,077kg-CO2へ若干減少(-3%)、今期も昨年同様生産増加しておりますが、その中でエアコンからストーブに変更等行い電力量を削減させている。

### 2)廃棄物の削減及びリサイクルの推進

結果:2012年度実績値に対して8.0%削減目標 → 12年度実績の9.8%削減。目標を達成している  
コメント:一般廃棄物量、昨年1.33tから今年1.56tへ増加。(昨年度よりも繁忙、年度末の書類整理による)昨年度より廃棄物のトータル量は増加したが、廃棄物の仕分けの徹底化(油汚れのない紙類を一般廃棄物→資源ごみ廃棄へ等)を行った。

### 3)水使用量の削減

結果:2012年度実績値に対して8.0%削減目標 → 12年度実績の17.2%削減  
コメント:水使用量、昨年357.0m<sup>3</sup>から今年331.9m<sup>3</sup>へ減少。水使用量も売上高、労働時間の増加が影響している。本年度は大きな水漏れが発生しなかったためであると想定される。

### 4)化学物質の管理

結果:新たな化学物質の使用は無し

### 5)グリーン調達の推進

結果:グリーン調達一覧表の見直し、更新(年1回:11月)  
部品のRoHS検査の実施(年2回:4月・10月)

### 6)自社製品の環境配慮

結果:毎月漏れなく、RoHS・省エネ明細(環境対応部品明細)の使用を遵守

### 7)生物多様性への対応

結果:毎月巡回実施、巣箱の状況、モッコクの木成長を確認  
社員への啓蒙活動の一環としてビデオ視聴を実施

### ※ 各項目の実績に関する人数内訳は以下とする

省エネルギーの推進・水使用量の削減=実績値/[ケミコン精機従業員+長期出張者(1ヶ月/2以上の滞在者)+㈱サンキデン様従業員]  
廃棄物の削減=実績値/[ケミコン精機従業員+長期出張者(1ヶ月/2以上の滞在者)]

## 7. 環境経営計画の2022年度取組結果、次年度(2023年度)の取組内容

### (1) 省エネルギーの推進 (CO2の削減)

2022年度取組内容及び結果		
環境経営計画	評価	結果
① 空調の設定温度管理の徹底、節電対策	○	表示、朝礼等で冬20℃、夏28℃を徹底
	○	夏場のE7CONタイミン30℃実施
	○	扇風機等を積極的に活用
	○	朝晩など積極的に外気取り入れを推進
	○	よしず、すだれ、グリーンカーテンを設置
② 照明、OA機器の節電、省電力設定の徹底	○	昼休み時の消灯、不在時の消灯の徹底、実施可能なコピー機、プリンター、PCは全て省電力設定に変更。新工場、第三工場へLED導入
③ 簡易間仕切り、作業エリアの分割、限定推進	○	カーテン等で使用エリアの分割、限定を実施
④ デマンドの活用	○	デマンドを活用し、データ収集中、ピーク値管理を強化
⑤ 社有車エコ運転の徹底	○	表示等でのエコ運転、燃費順の優先使用徹底
⑥ 社有車自主定期点検の徹底	○	毎月点検実施、事故防止、燃費向上を図る
⑦ コンプレッサーのエアリーク点検/整備の実施	○	毎月点検を実施
⑧ コンプレッサーのエアリーク点検の実施	○	半年毎に実施
⑨ 空調機器フィルター清掃点検の実施	○	半年毎に実施
⑩ 第二種圧力容器定期自主点検の実施	○	半年毎に実施
⑪ 工作機械定期自主点検の実施	○	半年毎に実施
⑫ 省エネルギーの推進・深堀	○	毎月実施(待機電力削減、環境関連設備投資による電力削減効果確認)

### (2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

① 段ボールのリサイクル徹底(非焼却)	○	分別ルールの徹底実施
② 古新聞・古雑誌等のリサイクル徹底(非焼却)	○	分別ルールの徹底実施
③ 緩衝材、木材パレットの再利用	○	置場の設置、継続
④ 事務用紙の再利用/リサイクルの徹底	○	シュレッダーにかけて再資源化実施
⑤ 部品梱包の簡略化/削減	○	業者への簡略化協力依頼表示実施
⑥ 廃棄物置場点検の実施	○	毎月点検を実施
⑦ 廃棄物の削減及び3Rの推進・深堀	○	毎月実施(敷地内の雑草を乾燥し廃棄物削減を図る)

### (3) 水使用量の削減

① 各蛇口の節水、ルールの徹底	○	節水表示により徹底
② 蛇口等の水漏れ点検	○	3か月毎に実施
③ 水道メーター点検	○	1か月に2回実施
④ 埋設配管点検の実施	○	半年毎に実施
⑤ 水使用量の削減・深堀(新規)	○	毎月実施

### (4) 化学物質の管理

① 新たな化学物質使用の監視・確認	○	1年を通してPRTR法の該当品はないことを確認
② 化学物質一覧表の見直し、定期更新	○	青梅で年2回更新実施
③ 灯油置場点検の実施	○	毎月点検を実施
④ 薬品油類置場点検の実施	○	毎月点検を実施
⑤ フロンガス使用機器点検	○	年4回、空調機等簡易定期点検を実施

### (5) グリーン調達推進

① グリーン調達一覧表の見直し、定期更新	○	青梅で年1回更新実施
② 部品のRoHS検査の実施	○	青梅で年2回更新実施。発注時における外部業者によるRoHS検査証明書発行による確認

### (6) 自社製品の環境配慮

① 環境部品明細(RoHS対応、省エネ)使用の遵守・確認	○	新規設計案件において、遵守率100%を達成。省エネ機器の選定9件実施
② 小型化、長寿命化、部品点数削減の推進	○	表示及び設計開始時、検閲時の確認を実施
③ 省エネ部品使用の推進・深堀	○	年2件実施

### (7) 生物多様性への対応

① 巣箱の設置(野鳥の保護)	○	毎月1回巡回を実施
② 植樹・モッコクの木(野鳥の保護)	○	毎月1回巡回を実施及び4~9月消毒を行う
③ 教育VTR視聴(生物多様性について)	○	年1回実施

取組結果の凡例:○実施 △不十分 ×未実施

### (1) 省エネルギーの推進 (CO2の削減)

2023年度取組内容		
環境経営計画及び取組内容		特記事項
① 空調の設定温度管理の徹底、節電対策		継続
② 照明、OA機器の節電、省電力設定の徹底		継続
③ 簡易間仕切り、作業エリアの分割、限定推進		継続
④ デマンドの活用		継続
⑤ 社有車エコ運転の徹底		継続
⑥ 社有車自主定期点検の徹底		継続
⑦ コンプレッサーのエアリーク点検/整備の実施		継続
⑧ コンプレッサーのエアリーク点検の実施		継続
⑨ 空調機器フィルター清掃点検の実施		継続
⑩ 第二種圧力容器定期自主点検の実施		継続
⑪ 工作機械定期自主点検の実施		継続
⑫ 省エネルギーの推進・深堀		継続

### (2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

① 段ボールのリサイクル徹底(非焼却)		継続
② 古新聞・古雑誌等のリサイクル徹底(非焼却)		継続
③ 緩衝材、木材パレットの再利用		継続
④ 事務用紙の再利用/リサイクルの徹底		継続
⑤ 部品梱包の簡略化/削減		継続
⑥ 廃棄物置場点検の実施		継続
⑦ 廃棄物の削減及び3Rの推進・深堀		継続

### (3) 水使用量の削減

① 各蛇口の節水、ルールの徹底		継続
② 蛇口等の水漏れ点検		継続
③ 水道メーター点検		継続
④ 埋設配管点検の実施		継続
⑤ 水使用量削減・深堀		継続

### (4) 化学物質の管理

① 新たな化学物質使用の監視・確認		継続
② 化学物質一覧表の見直し、定期更新		継続
③ 灯油置場点検の実施		継続
④ 薬品油類置場点検の実施		継続
⑤ フロンガス使用機器点検		継続

### (5) グリーン調達推進

① グリーン調達一覧表の見直し、定期更新		継続
② 部品のRoHS検査の実施		継続

### (6) 自社製品の環境配慮

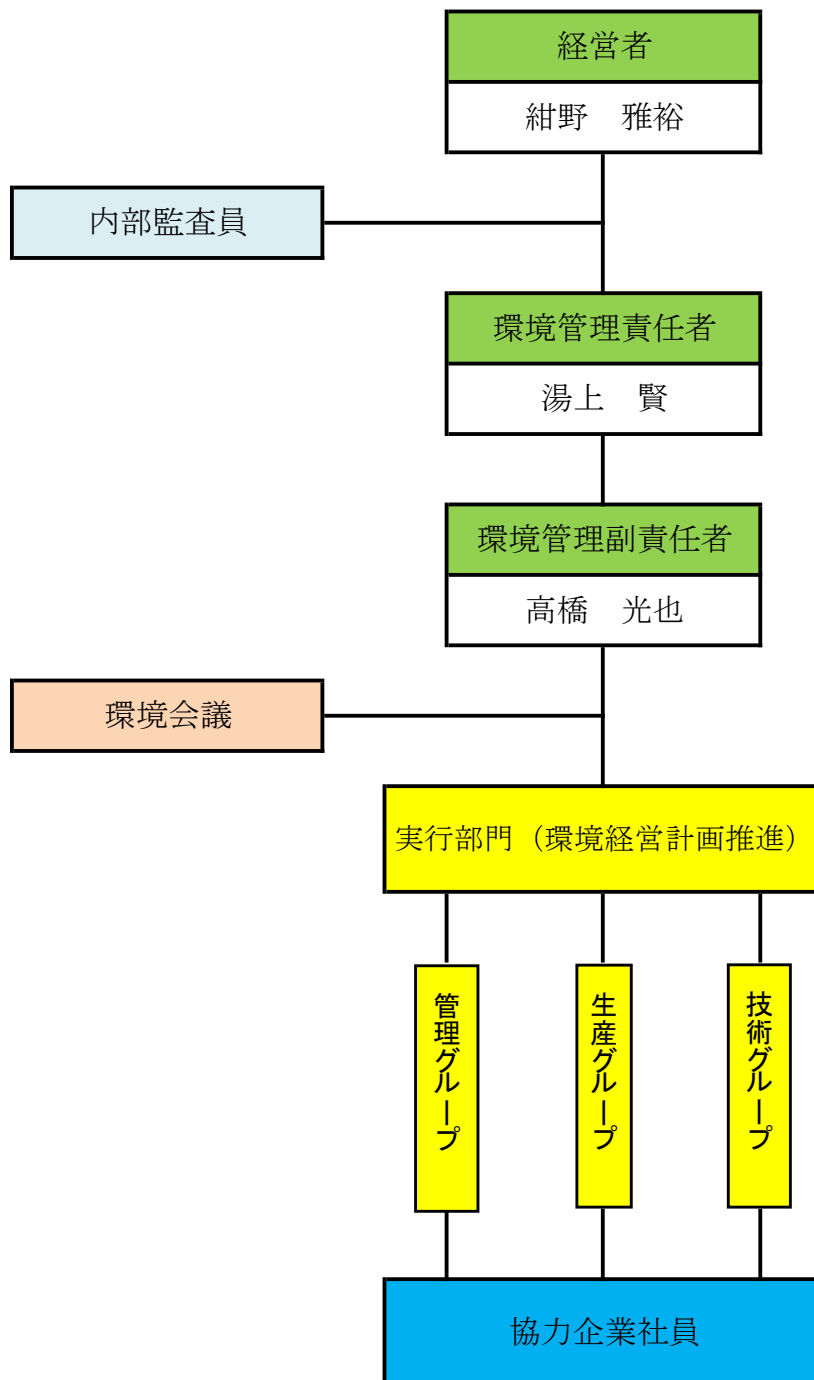
① 環境部品明細(RoHS対応、省エネ)使用の遵守・確認		継続
② 小型化、長寿命化、部品点数削減の推進		継続
③ 省エネ部品使用の推進・深堀		継続

### (7) 生物多様性への対応

① 巣箱の設置(野鳥の保護)		継続
① 植樹・モッコクの木(野鳥の保護)		継続
② 教育VTR視聴(生物多様性について)		継続

## 8. 環境経営計画の実施体制

### 環境管理組織図



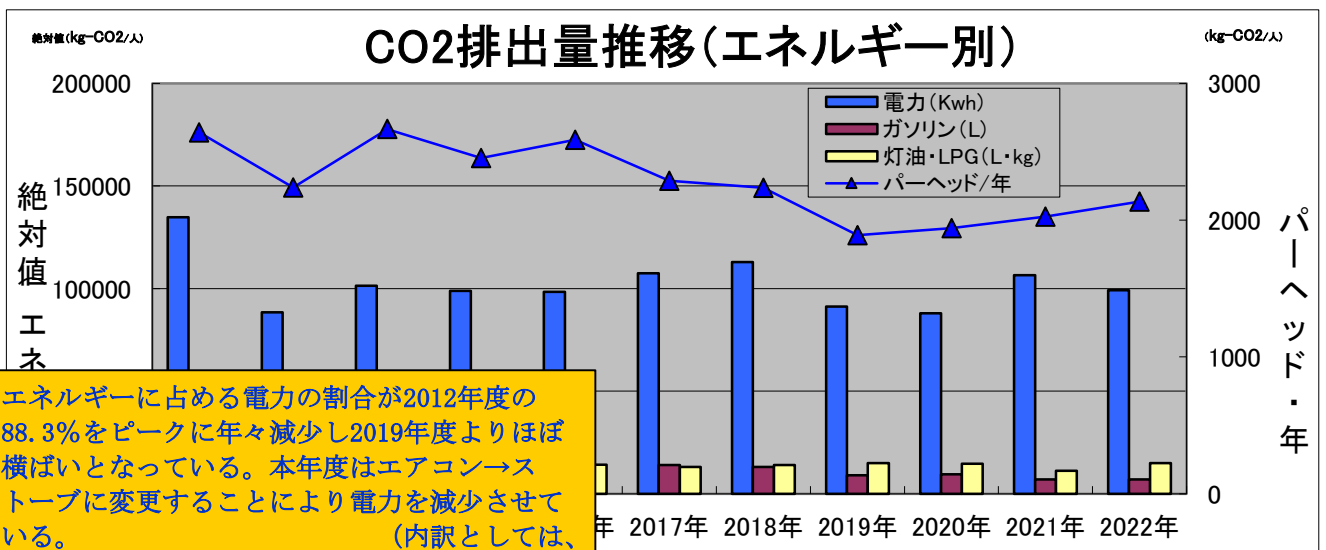
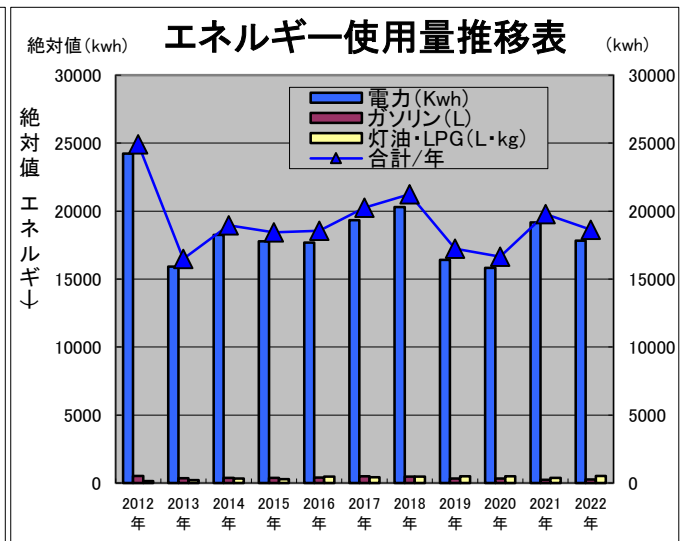
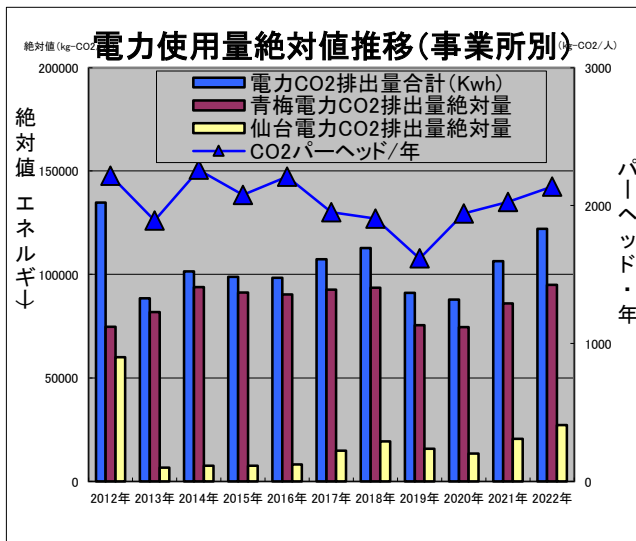
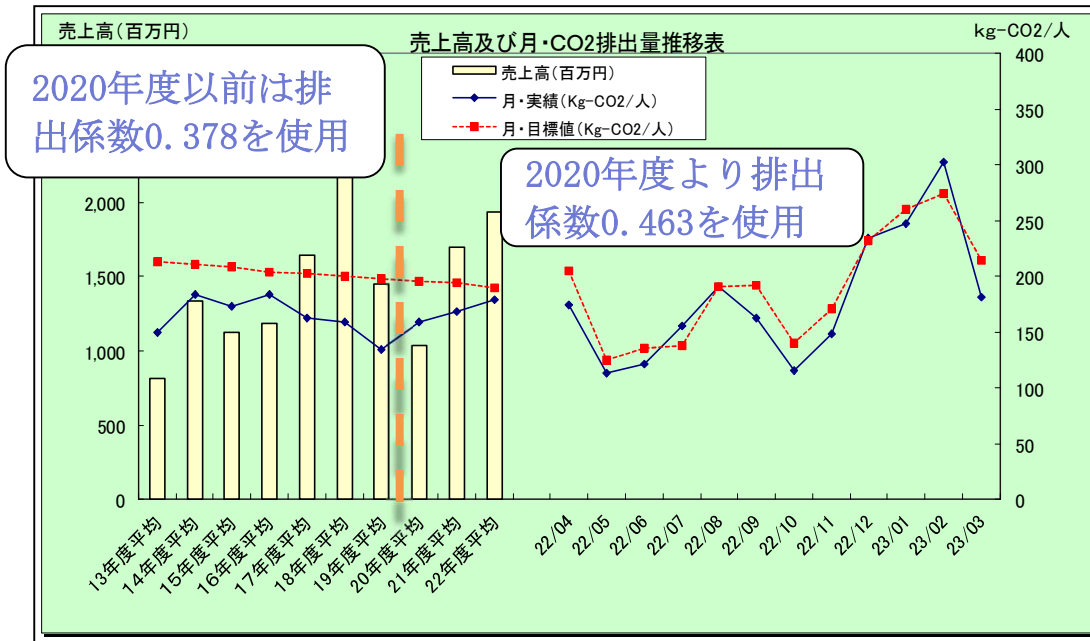


# EA21活動

## 活動内容の紹介

2022年度は、昨年度に比べ売上高が13.9%増加、実働時間が減少しており、絶対値は減少しておますが、長期出張者が多数いた為、パーヘッドは168.8→179.5 (kg-CO2/人) と6.3%UP。来期も本年度同様、増産予定で電力使用量も増加する予定ですので、省エネルギーの推進に心掛けていきます。

### (1) 省エネルギーの推進(CO2削減)

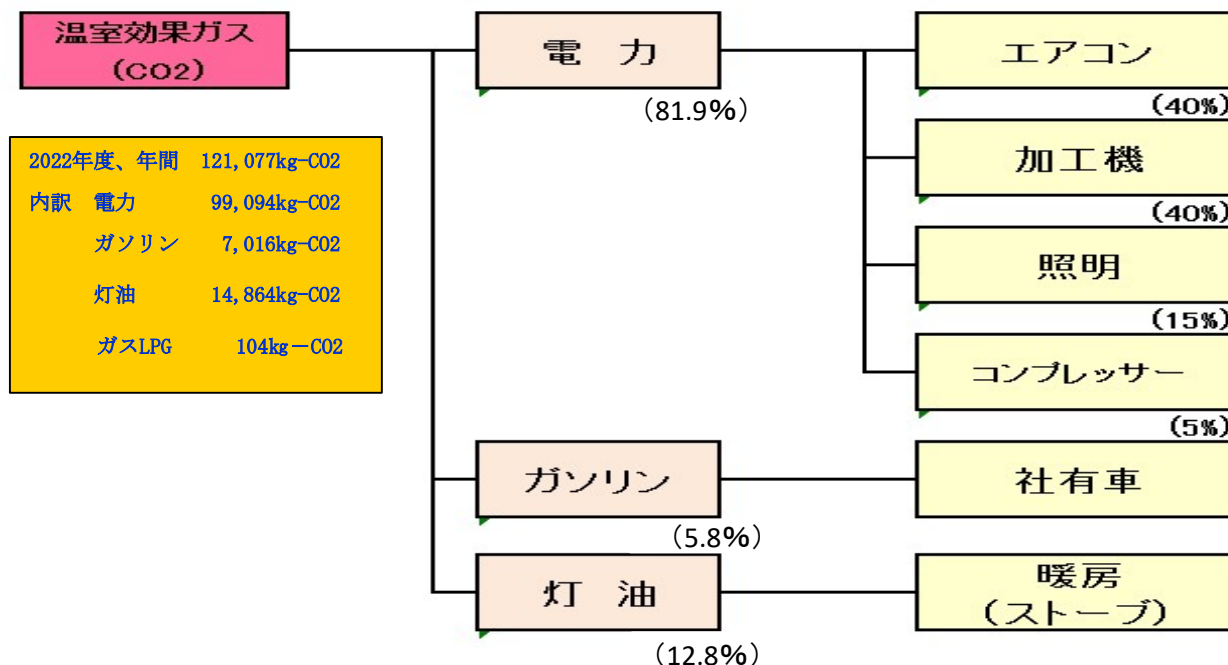


エネルギーに占める電力の割合が2012年度の88.3%をピークに年々減少し2019年度よりほぼ横ばいとなっている。本年度はエアコン→ストーブに変更することにより電力を減少させている。(内訳としては、昨年度比 電力85.5→81.9%、ガソリン5.54→5.80%、灯油8.98→12.8%)

## 活動内容の紹介

### (1) 省エネルギーの推進(CO2削減)

#### \*温室効果ガス内訳



\*現在、活動継続中

導入・設置年月	省エネ対策内容
2011年6月	サーキュレーター攪拌による節電
2011年6月	夏季「よしず」で日よけ(第一工場屋上、第三工場、事務所)
2011年8月	電力デマンド監視による最大電力の抑制
2013年	暖房マニュアル作成(暖房開始時間の調整及び暖房とストーブの併用)
2014年8月	トイレに人感センサーを設置し、電気の消し忘れ等の節電
2014年11月	(カローラ)ハイブリッドカーへ入替
2015年9月	(プリウス)ハイブリッドカーへ入替
2016年9月	水銀灯からLEDへ効率蛍光灯へ更新(第一工場加工場) 10本/10本 100%
2016年10月	(カローラ)ハイブリッドカーへ入替 仙台
2016年11月	空調機器入替による効率化、CO2、電力量削減(第三工場)
2017年3月	屋根断熱塗装による節電、CO2、電力量削減(第二工場)
2017年5月	(カローラ)ハイブリッドカー1台新規導入 仙台
2017年7月	空調機器室外機へ日避けヒートを設置
2017年9月	(プリウス)ハイブリッドカーへ入替
2017年9月	第一工場加工場、LED高効率照明へ更新 20/50本 40%
2018年2月	新工場、LED高効率照明を設置 50/50本 100%
2018年5月	第三工場、LED効率照明に更新 50/132本 38%
2018年8月	第三工場シャッターへ遮光シートを設置
2019年5月	第三工場、省エネ空調機器導入

\* 2019年度以降に導入・設置したものは次ページにて紹介

*現在、活動継続中(前頁より)	
導入・設置年月	省エネ対策内容
2019年8月	第三工場シャッターへ遮光シートを設置(追加)
2019年8月	事務所窓へ遮光シートを設置
2019年10月	事務所、省エネ空調機器導入
2020年6月	3F設計室、省エネ空調機器導入
2021年2月	仙台、省エネ高効率コンプレッサに更新
2021年2月	仙台 加工場、省エネ空調機器導入
2021年2月	3F設計室、LED高効率照明に更新 14/14本 100%
2021年6月	エアコンの入替_青梅事業所2F全体朝礼室3台交換
2021年6月	エアコンの入替_仙台事業所組立西側1台交換(省エネ対応)
2021年9月	照明のLED化_青梅事業所事務所48本中48本更新
2021年12月	エアコンの入替_青梅事業所1F配線場1台交換(省エネ対応)
2022年1月	社有車の入替(青梅事業所1台)
	2022年度の活動内容は以下の通りです。

## 2022年度、活動内容の紹介

### (1) 省エネルギーの推進(CO2削減)

- ①照明のLED化\_仙台事業所事務所、加工場51本中51本更新 2022年6月実施
- ②照明のLED化\_青梅事業所第二工場42本中42本更新 2022年8月実施
- ③照明のLED化\_青梅事業所事務所48本中48本更新 2021年9月実施
- ④社有車入替\_青梅事業所 2022年9月実施
- ⑤照明のLED化\_青梅事業所第二工場52本中52本更新 2023年1月実施

#### 22年度照明のLED化まとめ

##### ■2022年度の電力削減効果まとめ(月割り)

電力削減量  $2485\text{Kwh} \times 9/12\text{ヵ月} + 2046\text{Kwh} \times 8/12\text{ヵ月} + 2533\text{Kwh} \times 2/12\text{ヵ月} = 3,650\text{Kwh}/\text{年}$   
 年間効果金額  $3,650\text{Kwh} \times 17.5\text{円} = 63,875\text{円}$   
 →TOTAL電力量削減比率 =  $3,650\text{Kwh} / 229,936\text{Kwh}$  (2021年度TOTAL電力量実績) = **1.59%**

CO2全体に占める電力量の割合は直近で85%  
 →TOTAL CO2削減比率 =  $1.59\% \times 85\% = 1.35\%$  削減(中期目標1%削減)

- ・第三工場シャッター、事務所窓へ遮光シート設置及び夏季エアコンブレーカOFFによる待機電力削減、毎月の活動(空調設定温度管理の徹底、照明、OA機器の節電、簡易間仕切り、作業エリアの分割等)も継続して行っております。

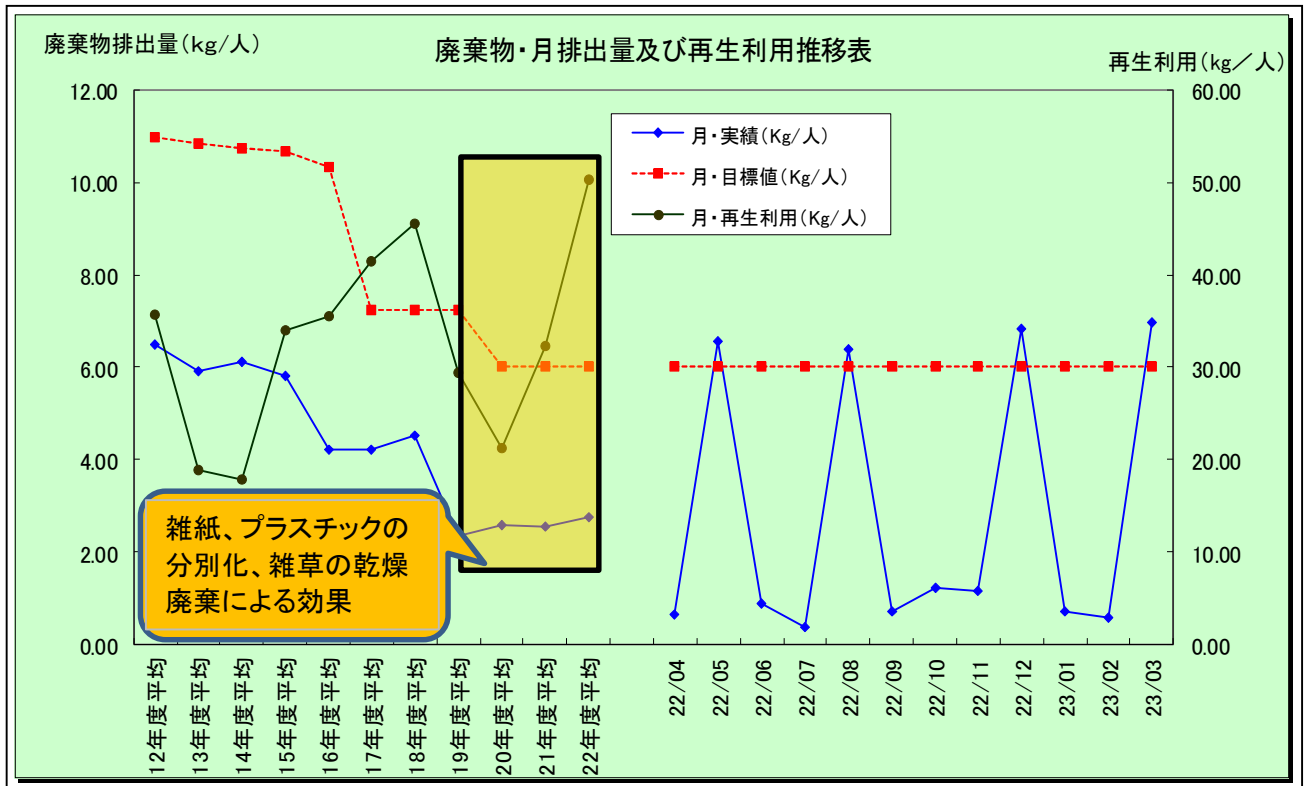
## 2023年度取組予定

- ・省エネ対応エアコンの入替(青梅事業所1台 7月予定)
- ・社有車入替(仙台事業所1台 3月予定)

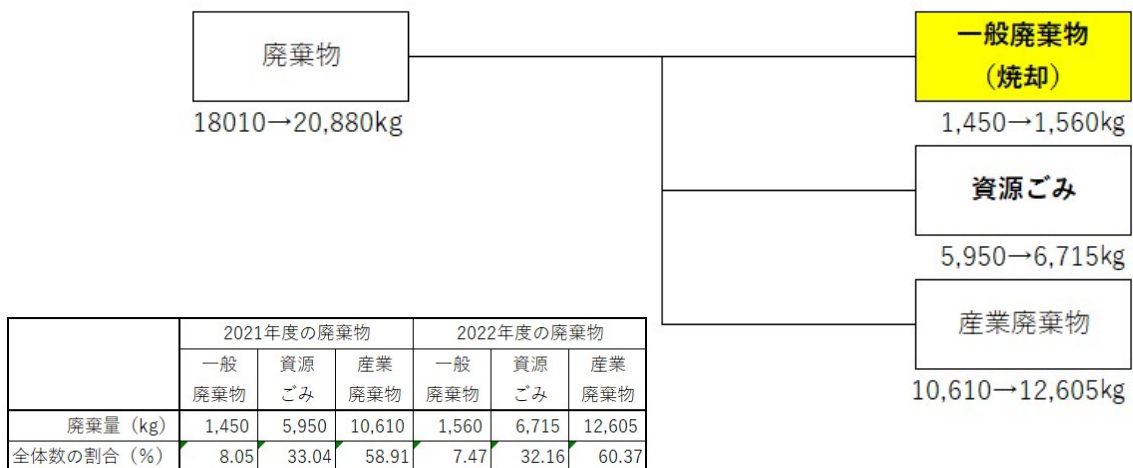
# 活動内容の紹介

## (2) 廃棄物の削減・リサイクルの推進

\*廃棄物の内訳



## 廃棄物の変動内訳 (2021→2022年度)



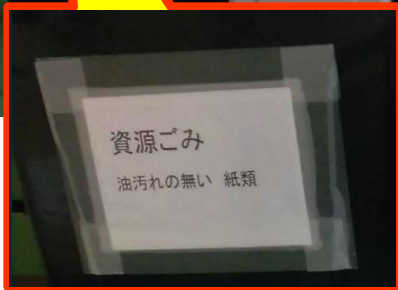
2022年度、一般廃棄物の削減目標値72.0kg/人に対し、実績値は32.99kg/人と目標を達成した。一般廃棄物の量も昨年1,450kgに対して1,560kgと増加しておりますが、全体総数も増加（昨年度よりも繁忙、年度末の書類整理による）しておりますので、各廃棄物の割合は昨年と同程度です。ごみの分別強化及びリサイクル化(昨年同様)による効果が表れております。

## 活動内容の紹介

### (2) 廃棄物の削減・リサイクルの推進

2021年6月より一般廃棄物削減を目的に、油汚れのない紙類を資源ごみへ廃棄し、油汚れのないビニール類を廃プラ(軟質)に廃棄し、2020年度よりも更に仕分けを徹底することにより大幅に削減。本年度もごみの分別を継続し一般廃棄物を削減してゆく

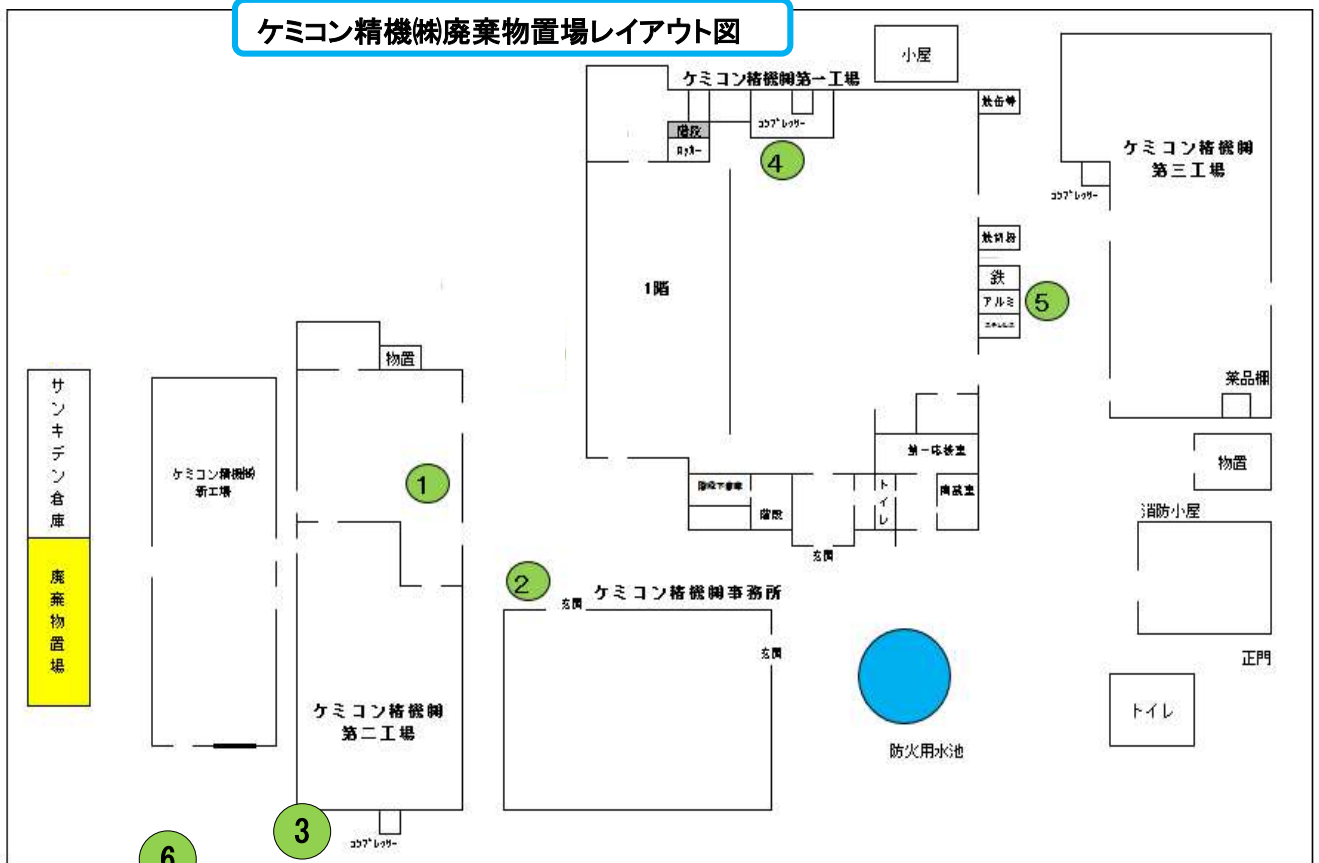
**一般ゴミ: 昨年 1,450kg→今年 1,560kg(廃棄物全数が昨年度より増加。割合的には同等ですので現状維持)**



更に仕分けを行った



ゴミのカゴを部門別に分けて、廃棄物を精査してリサイクルに努めた。また、分別が不十分な部門へ指導を行った。



## 活動内容の紹介

### (2) 廃棄物の削減・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進

2020年11月より一般廃棄物削減を目的に、会社敷地内の雑草を回収したものを、木箱に入れ乾燥させ廃棄量を削減(通常廃棄量から1/3)

廃棄物置場①～⑥の分別内容

1 段ボールの再利用緩衝材 梱包材の再利用 (リユース)



2 パレットの再利用(リユース)



3 木くずの分別廃棄→再資源化(リサイクル)

4 蛍光灯、乾電池の分別廃棄→再資源化(リサイクル)

2018年10月設置場所変更



廃棄物処理法改正に伴い設置(水銀関係)  
2017年10月施行  
蛍光灯は割れないように保管可能



5 鉄、ステンレス等有価物の分別廃棄 →再資源化(リサイクル)

6 草取りによって発生した廃棄物の廃棄手段変更  
そのまま廃棄→乾燥(1/3に減少)(リデュース)



2020年11月より実施

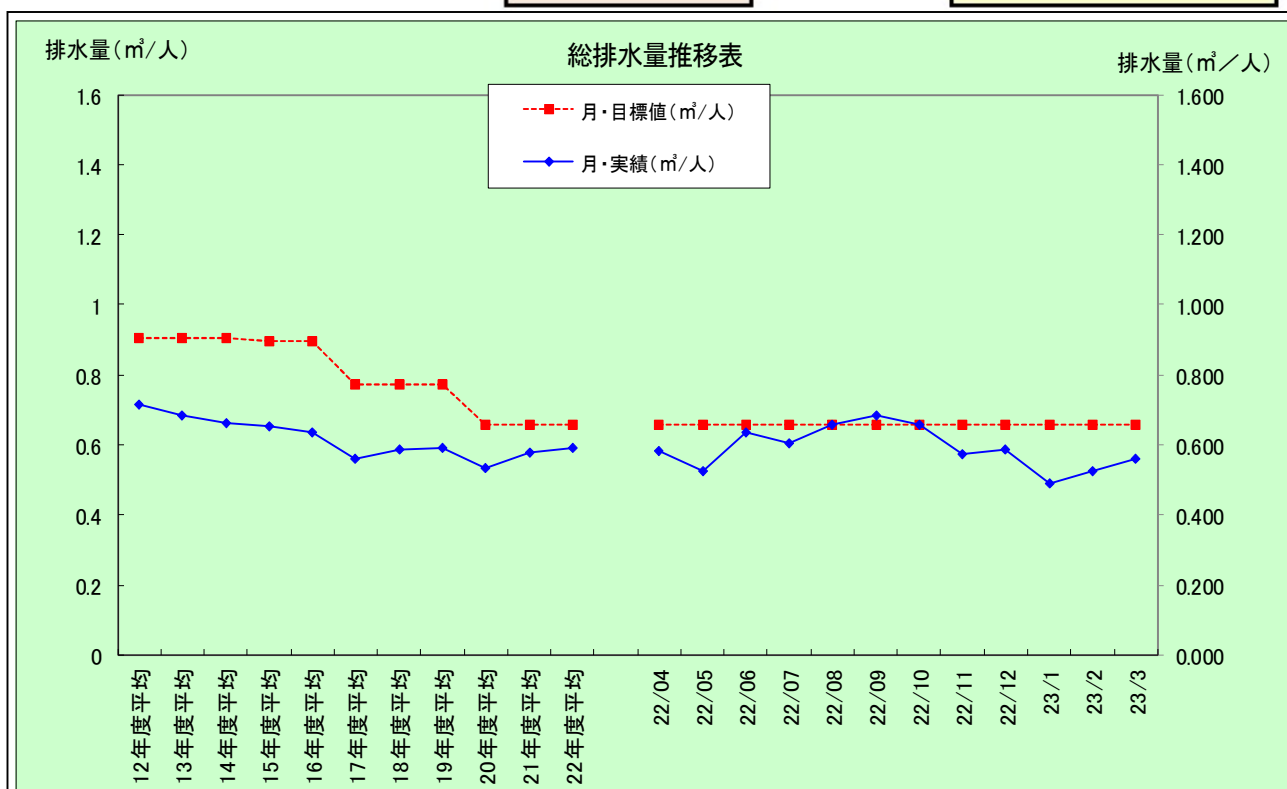
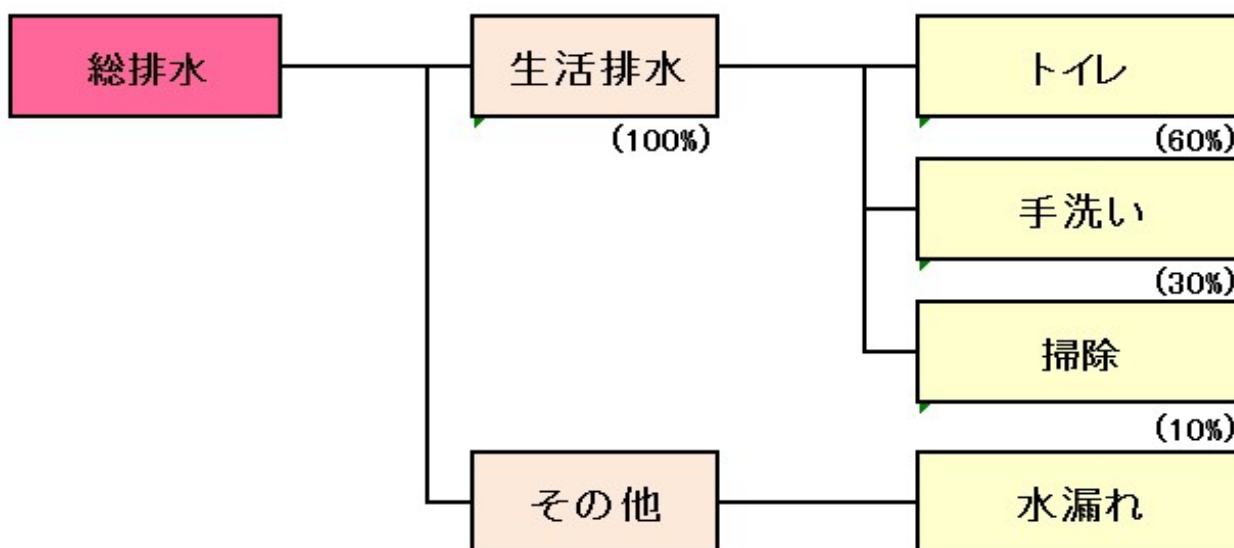
## 活動内容の紹介

### (3) 水使用量の削減

総排水量の内訳

2022年度、総排水量は403.9 $\text{m}^3$

トイレ242.3 $\text{m}^3$ 、手洗い121.2 $\text{m}^3$ 、掃除40.4 $\text{m}^3$



2022年度は、総排水量は昨年422.0 $\text{m}^3$ から今年403.9 $\text{m}^3$ と若干減少しております。パーヘッドは昨年6.85 $\text{m}^3$ から今年7.11 $\text{m}^3$ と増量しております。本年度は排水量に関して減少理由は、年間一度も目標値を超える増大な排水量がなかったためです。またパーヘッドに関して増加理由は長期出張による定員減りが要因として挙げられます。来期も増産の予定でありますので、使用量は増量すると想定されますが、ケミコングループ全体で水使用量の削減が求められており、弊社でも意識向上を図り、更なる節水へ務めていきたいと思っております。

# 活動内容の紹介

## (3) 水使用量の削減

\*節水対策

2020年度9月より、無駄な水使用を削減するべく、蛇口1ヶに1枚手順書を添付し従業員に意識付けを行っております。



効率の良い手洗い手順書を蛇口付近に添付

2020年9月導入

### 水道メータ点検シート

水漏れ点検記録1/2(青梅)				承認		
年 月 日				承認 2	承認 1	確認
水道メータ点検記録1/2(青梅) 年 月 日 点検頻度: 月に1回 点検日: 月の中旬頃 点検担当: 管理②				承認		
重要: 異常時(水漏れ時)は、直ちに責任者に連絡し対応・修理を行う事。						
点検日	月	日	点検担当者	承認		
点検項目	OK	NG	特記事項			
水道 蛇口からの水漏れはないか、結まりは悪くないか(パッキン等の摩耗)						
①第1工場1F 正産手洗い場						
②第1工場1F 加工場 コンプレッサー室						
③第1工場2F 食堂						
④第1工場2F 男子トイレ内手洗い場						
⑤第1工場2F 検査室						
⑥事務所 給湯室						
⑦正門 トイレ内手洗い場						
トイレ、ダク等からの水漏れはないか(覆れっぱなしになっていないか)						
⑧第1工場2F 男子トイレ						
⑨正門 男子トイレ						

## プッシュ式蛇口に変更(手洗い場全数)

2020年11月導入

第一工場手洗い場へ節水用パブル90を設置: 性能的に50%削減可能

### 蛇口等からの水漏れ点検シート

水道メータ点検記録(青梅)				承認		
年 月 日				承認 2	承認 1	確認
水道メータ点検記録(青梅) 年 月 日 点検頻度: 月に2回 点検日: 月初の朝、月の中旬頃の朝 点検担当: 管理②				承認		
重要: 異常時(水漏れ時)は、直ちに責任者に連絡し対応・修理を行う事。 平均使用量が1.2以上の場合異常。						
点検日	月	日	点検担当者	承認		
メーター種	使用量(%)	日数(%)	平均使用量(%)	特記事項		
点検日	月	日	点検担当者	承認		
メーター種	使用量(%)	日数(%)	平均使用量(%)	特記事項		

月2回の点検により早めに水漏れが発見

### 埋設配管点検シート

埋設配管点検記録(青梅)				承認		
年 月 日				承認 2	承認 1	確認
重要: 漏水時は、直ちに責任者に連絡し対応・修理を行う事。						
点検日	月	日	点検担当者	承認		
点検項目	OK	NG	特記事項			
① 1F 第1工場(1F)手洗い場へ水を流し、①-②のマンホールへの水の流れを確認 ② 1F 第1工場(1F)手洗い場へ水を流し、③のマンホールへの水の流れを確認 ③ 1F 第1工場(1F)手洗い場へ水を流し、④のマンホールへの水の流れを確認 ④ 1F 第1工場(1F)手洗い場へ水を流し、⑤のマンホールへの水の流れを確認 ⑤ 1F 第1工場(1F)手洗い場へ水を流し、⑥のマンホールへの水の流れを確認						

2016年度より開始



# 活動内容の紹介

## (4) 化学物質の管理



危険物保管庫による薬品管理



油類置き場

### 新たな化学物質を使用していないかチェック

化学物質実地棚卸表

事業所名	CGK			
危険物分類	第1工場	第2工場	第3工場	事務所
	最大収量	保管量	最大収量	保管量
4類1石油類	500	5,000	5,000	5,000
4類2石油類	400	1,000	40,000	20,000
4類3石油類	1,000	100,000	100,000	100,000
4類4石油類	2,000	100,000	100,000	100,000
4類5石油類	6,000	80,000	100,000	100,000
可燃性液体類	1,000	1,000	1,000	1,000
指定数量以上計	4,100	4,101	6,107	6,107

品名	規格	数量	単価	金額	危険物分類	備考
1	ロックタイト7471	1	1,750	1,750	4類1石油類	
2	スリーボン1461	3	1,150	3,450	4類1石油類	
3	ビスコパワータンク	5	5,850	29,250	4類1石油類	
4	ビスコパワータンク	1	7,500	7,500	4類1石油類	
5	灯油	6	8,000	48,000	4類1石油類	
6	灯油	1	18,000	18,000	4類1石油類	
7	灯油	1	12,000	12,000	4類1石油類	
8	灯油	2	17,820	35,640	4類1石油類	
9	灯油	1	8,980	8,980	4類1石油類	
10	灯油	1	6,780	6,780	4類1石油類	
11	灯油	1	6,600	6,600	4類1石油類	
12	灯油	3	2,500	7,500	4類1石油類	
13	灯油	4	600	2,400	4類1石油類	
14	灯油	2	4,200	8,400	4類1石油類	
15	灯油	1	7,020	7,020	4類1石油類	
16	灯油	8	4,480	35,840	4類1石油類	
17	灯油	1	2,200	2,200	4類1石油類	
18	灯油	2	200	400	4類1石油類	
19	灯油	1	16,500	16,500	4類1石油類	
20	灯油	1	1,780	1,780	4類1石油類	
21	灯油	1	16,800	16,800	4類1石油類	

年2回、化学物質の在庫状況をチェックして一覧表を更新し、毎月各部屋の薬品棚をチェックし、身体に有害な物質を使用していないか、法を遵守しているかを確認。

### 毎月の点検を実施

### 油類保管点検シート

油類点検記録(青梅) 次書番号 CE-962-10A

年月: 年 月 点検頻度: 1回/月 点検日: 月の中旬 承認: 1回/月 担当部門: 生産

承認者: 承認1 承認2 確認

対象: 油類置き場(第1工場加工工場)

点検日	月	日	点検担当者

点検項目: OK NG 特記事項

- 防漏(オイル)の破損・亀裂無きこと
- 容器の破損無きこと
- 表示の欠損無きこと
- 液の漏れ、汚れ無きこと
- 整理、清掃されていること
- MSDSに掛りの無きこと

対象: 油類置き場(第2工場加工工場)

点検日	月	日	点検担当者

点検項目: OK NG 特記事項

- 防漏(オイル)の破損・亀裂無きこと
- 容器の破損無きこと
- 表示の欠損無きこと
- 液の漏れ、汚れ無きこと
- 整理、清掃されていること
- MSDSに掛りの無きこと

対象: 油類置き場(第3工場組立工場)

点検日	月	日	点検担当者

点検項目: OK NG 特記事項

- 防漏(オイル)の破損・亀裂無きこと
- 容器の破損無きこと
- 表示の欠損無きこと
- 液の漏れ、汚れ無きこと
- 整理、清掃されていること
- MSDSに掛りの無きこと

※編印: 現場管理責任者、承認1: 担当者(上司/グループ長)、承認2: (ホリ) ケミコン精機株式会社

毎月、薬品・油類、灯油置き場等の定期点検を実施し記録簿へ記載。

# 活動内容の紹介

## (5) グリーン調達

グリーン調達一覧表 表 実施記録(年々) (単位: 個)

調査日: 2019年10月7日  
調査担当: 竹内 健二

調査対象: 1. 製造業 2. 建設業 3. 流通業 4. サービス業 5. その他

NO	業者名	材質	表面処理	測定結果	判定	コメント				
				Cd	Pb	Hg	Br	Cr		
1	瀬五光社	S45C	加工散粉	○ ○ ○ ○ ×	○					
2	キョーユー	SACM645	加工散粉	○ ○ ○ ○ ×	○					
3	神忠光製作所	C7701P-H	無し	○ ○ ○ ○ ○	○					
4	協栄製作所	S45C	加工散粉	○ ○ ○ ○ ○	○					
5	協栄製作所	S	KN	○ ○ ○ ○ ×	○					
6	協栄製作所			○ ○ ○ ○ ×	○					

グリーン調達一覧表の見直しを年1回実施して環境負荷が少ない原材料、部品、設備を調達する。

検査日: 2019年10月7日  
検査担当: 竹内 健二

NO	業者名	材質	表面処理	測定結果	判定	コメント				
				Cd	Pb	Hg	Br	Cr		
1	瀬五光社	S45C	加工散粉	○ ○ ○ ○ ×	○					
2	キョーユー	SACM645	加工散粉	○ ○ ○ ○ ×	○					
3	神忠光製作所	C7701P-H	無し	○ ○ ○ ○ ○	○					
4	協栄製作所	S45C	加工散粉	○ ○ ○ ○ ○	○					
5	協栄製作所	S	KN	○ ○ ○ ○ ×	○					
6	協栄製作所			○ ○ ○ ○ ×	○					

・総合判定として全てを合格とする。

RoHS蛍光x線検査を年2回実施して加工品の表面に有害物質の付着がなく処理が施されているか確認している。

## (6) 自社製品の環境配慮

既製品明細表

区分	種名	メーカー	部品名	規格	メーカー名	記事	数量	単位	RoHS
E	LSW-1301-C		リール部	CE01					
1	ネジ	5052ZENR	NTN				2		○
2	ワッシャー	525	IWT				3		○
3	光電センサー	PZ-G81P	KEYENCE				1		○
4	レギュレーター	OP-B643B	KEYENCE				1		○
5	カメラ	EE-SX673P	OMRON				4		○
6	カメラ	EE-1910	OMRON				4		○
7	光源	*	*				0		○
8	モーター	BLM460SH-30S	OM				1		○
9	ワッシャー	E54	IWT				1		○
10	ネジ	B100S3M400	三ツ星				1		○
11	ワッシャー	SSCJUL29-M	MISUMI				1		○
12	ワッシャー	6810	KSSG				1		○
13	光源	-	-				0		-
14	光源	-	-				0		-
15	光源	-	-				0		-
16	ワッシャー	LF-1680Z2	NMB				2		○
17	ワッシャー	GS	IWT				1		○
18	ネジ	HTPP44SM100-A-H25-KT(C40-K6.5)	MISUMI				1		○
19	ネジ	HTPP22SM100-B-N15-KC90	MISUMI				1		○
20	ネジ	MMx10SUS	三ツ星				4		○
21	接続ケーブル	CS0509BLB	OM				1		○
22	ワッシャー	G15	IWT				2		○
23	ネジ	22Z2	NTN				4		○
24	ネジ		MISUMI				4		○

RoHS、省エネ対応部品使用の遵守、確認を行い、環境に優しい設計に配慮する。

### 省エネ方法の提案

No	現状の使用方法	省エネ提案内容	効果	実施	展開
1	操作パネルの画面が常に点灯し使用していません。 (対象機 LSW-2060)	タッチパネルの画面を一定時間操作しないと消灯する様に、消費電力を削減することを提案。	消費電力の削減 通常時:17W 画面消灯時:7W 削減効果:10W <タッチパネル1台使用> 1日8時間、昼休み1時間として使用した場合 AM,PMの始業時に各0.5H操作、操作してない時間(消灯時間)は8H。 ・0.01 Kw×1台×8H=0.08Kwh ・1Kwh=17.5円として換算すると、1日1.4円 ・月20日稼働として=28円	2022/9~ 実施済み	2022/9~ の装置へ 展開
2	真空を利用して吸着する装置のエジェクタにSMC製のZ0シリーズを使用していました。 (対象機 JCI-1000,JCI-1001)	真空を利用して吸着する装置のエジェクタにSMC製のZk2/省エネ機能付きシリーズに変更	消費電力の削減 <Z0シリーズからZk2/省エネ機能付きシリーズ変更> 1日8時間、稼働率90%、昼休み1時間停止として使用した場合、1日の停止時間は2.4H、運転時消費電力はZ0/3.25Wh-Zk2/1.29Wh=1.96Wh ・1.96Wh×2台(24個)=47.04Wh ・1Kwh=17.5円として換算すると、1日0.82円 ・月20日稼働として=16.45円	2022/10~ 実施済み	2022/10~ の装置へ 展開
3					

『2022年度のまとめ』  
実績2件/目標2件  
実施率100%

社内製作設備において部品変更、構造変更、仕様などの変更により省エネにつながる事項を改善してゆく。2回/年実施  
2022年度の効果金額はtotal44.45円/月(20日稼働として)

# 活動内容の紹介

## (7) 生物多様性への対応



カラスからヒナを守るため、カラス除けを設置

2017.05、モッコクの木(2本)植樹全長290cmほどに成長写真撮影(2022年春)



22年3月シジュウカラが巣箱に営巣しました。

生物多様性についての勉強会を開催2023.2実施



## (8) 仙台事務所の活動



仙台事務所風景



グリーンボード



節電の推進



省エネ間仕切り



再生利用の推進



節水の推進(蛇口をレバー式に変更)



化学物質の管理



エアコン、コンプレッサー入替(省エネ対応)



廃棄物置場保管・管理

- ・青梅事業所同様に節電推進、節水推進、グリーンボードにより環境負荷や活動の状況を周知するなど環境維持活動を実施。
- ・省エネルギーの推進、廃棄物の削減、再生利用の推進、化学物質の管理を実施。



## 当社のEA21活動(活動内容の紹介)

### (9)その他

#### ●社員への教育・訓練

2008..4 スタート

環境教育名(内容概略)	対 象	教育サイクル	2022年度実施状況
入社・異動時教育 (環境への取組み、方針、他)	新入社員、異動者	発生の都度	4～3月、2名
一般教育 (方針、目標、経営計画、各自の役割・権限・責任他)	全従業員	年1回	6月、46名
環境関連従事者教育 (法規制、遵守手順他)	関連従業員	年1回	11月、13名
緊急時対応教育訓練 (対応手順テスト、訓練他)	関連従業員	年1回	12月、22名
環境法規遵守状況を評価する者への教育 (外部機関への研修会参加、関係書籍の通読等)	環境管理責任者	年1回	11月、1名
内部監査員教育 (マニュアル、監査内容、試験他)	対象従業員	欠員が出た都度	欠員無し
労働安全衛生教育、一般教育 (加工機械使用時の注意事項、実技指導他)	対象従業員	年1回	11月、22名
一般教育 教育DVDを視聴し環境に対する意識を高める(資料:地球人間環境フォーラム_人と木～セナキの森林を守るため、今私たちにできること)	全従業員	年1回	12月、46名

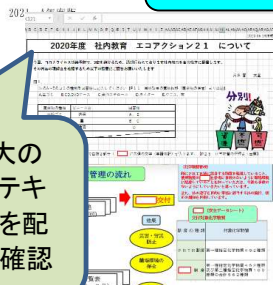
### 内部監査できる資格者を増員中

2022年5月実施

青梅・仙台共に実施



社内講習テキスト(一般教育)  
エコアクション21



コロナウイルス感染拡大の影響により教育資料のテキストを配布しテスト用紙を配布し従業員の理解度を確認

一般教育(エコアクション社内教育実施)

2022年12月実施



青梅・仙台共に実施



緊急時対応教育訓練(油类等流出時対応訓練実施)

労働安全衛生教育(工作機械使用時の注意事項、実技指導)

## 当社のEA21活動(活動内容の紹介)

(9)その他

### ●社会貢献活動(ボランティア活動)

青梅市内美化活動、健康促進活動の一環として定時勤務後、9月(通年は7月)市内を清掃しながらのナイトウォークを実施。



5S活動の一環として、毎日清掃  
地域環境美化の意識向上を図る

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び違反、訴訟等の有無

当社の2022年度における環境関連の適用法令に基づく遵守状況の確認結果の概要は以下の通りであった。(2022年7月19日確認)

### 1) 青梅事業所

関連法令	該当する活動	遵守状況
騒音規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
振動規制法	規制基準の遵守	適合
	特定施設の届出	適合
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正保管	適合
	産業廃棄物の適正処分 (運搬、処理の委託)	適合
	マニフェスト管理	適合
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	適合
	ボイラー及び圧力容器安全規則 (第二種圧力容器の定期自主検査)	適合
フロン排出抑制法	対象機器の簡易点検・定期点検	適合
土壌汚染対策法	土地の一定規模以上(900㎡以上)の 形質変更がある場合の届出義務	適合
道路交通法	安全運転管理者等選任、解任	適合

### 2) 仙台事務所

関連法令	該当する活動	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の適正処分	適合
フロン排出抑制法	対象機器の簡易点検	適合
労働安全衛生法	ボイラー及び圧力容器安全規則 (第二種圧力容器の定期自主検査)	適合

※上記の通り環境に関連する法令について確認した結果不適合はありませんでした。  
また、2022年度において近隣・行政等の利害関係者より環境に関する苦情、訴訟はありませんでした。

## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 【代表者のコメント】

2022年度の環境活動取組結果は目標を達成し、十分な活動内容となりました。

日本ケミコングループでエコアクション21を取得する事業所は、当事業所のみですが、本社環境部門との情報交換を通じて、2023年度も活発な活動を期待します。

2018年度からエコアクション21ガイドライン2017年版改訂に準拠した活動を行ってきており、今年で6年目を迎え全社員が活動内容を理解して取り組んでいます。

環境経営計画においても、省エネルギーの推進、廃棄物の削減、水使用量の削減、自社製品の環境配慮に対して深堀を行うなど、新たな取り組みが見られました。引き続き角度を変えて実施して行きましょう。

2022年度は車載関連を中心に設備投資やICT関連投資が堅調に推移したことから、日本ケミコングループの設備投資も旺盛で、それに伴い当社での設備製作及び部品の受注は順調に推移しました。外販も含め当社全体が繁忙を極めたが、全従業員の環境活動への積極的な参画により目標を達成することが出来ました。

2023年度も昨年同様に旺盛な設備及び部品の受注を見込んでいる中で目標達成に向けて全社員一丸となって環境保全活動に取り組んでください。

2023年度は3ヶ年計画の初年度に当たり、目標達成に向けたチャレンジに取り組みより良いシステムにしていきましょう。